

## 平成13年度講義要綱

### 概 要

#### I. 経済活動の変動

##### A. 経済の長期趨勢と短期変動

1. 戦後日本の経済変動
2. 経済変動の分析

##### B. 潜在生産能力の決定とその成長

1. 潜在生産能力の決定因
2. 最適貯蓄の理論

#### II. 「古典派」とケインズ

##### A. ケインズおよび新古典派総合

1. 非自発失業
2. 新古典派総合の意味

##### B. 「新しい古典派」

1. 合理的期待仮説
2. 「新しい古典派」理論の構成要素

#### III. インフレーション

##### A. フィリップス曲線

1. フィリップスの発見とその解釈
2. 日本経済のフィリップス曲線

##### B. マネタリストの理論

1. 自然失業率仮説の帰結
2. ルーカスの理論

#### IV. 価格機構

##### A. 個別経済主体の行動の分析

1. 家計の貯蓄と資産選択
2. 企業の投資行動

##### B. 市場

1. 価格の硬直性
2. 金融市場と経済活動

V. マクロ経済政策

A. マクロ経済政策の課題

1. 資源の完全利用
2. 変動の安定化

B. マクロ経済政策の諸問題

1. 金融政策
2. 財政政策

VI. 開放経済のマクロ経済学

A. ケインズの洞察

1. 国際収支と外国為替相場
2. 政策目的の二律背反

B. マンデル=フレミング理論

1. 理論の構造
2. 政策の効果

予定表

前期

1. 日本経済の現状
2. 戦後日本の経済変動
3. 経済時系列の分析
4. 経済の潜在生産能力
5. セーの販路法則
6. 失業の概念
7. 合理的期待仮説
8. 失業とインフレーション

後期

1. 家計の貯蓄と資産選択
2. 企業の投資行動
3. 金融市場と経済活動
4. マクロ経済政策の課題
5. 貨幣供給と物価，経済厚生
6. リカードの中立性命題
7. 政策の時間不整合性の問題
8. 開放経済のマクロ経済学